文部科学省認可通信教育

令和６年１月発行　第 97 号

楽学書（らくがき）

放送大学 福井学習センター
〒910-0858 福井市手寄１丁目4－１ AOSSA（アオッサ）7F
TEL 0776-22-6361 FAX 0776-22-6431
https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukui
福井学習センター利用時間（月曜・祝日は閉所）
（火～金）9:30～18:00
（土・日）9:00～17:30

梨子ヶ平の水仙（丹生郡越前町）

大森神社跡地の鳥居（福井市脇三ヶ町）

ホワイトザウルス（勝山市村岡町）

冬の三国サンセットビーチ（坂井市三国町）

【写真提供】写真サークル「フォト倶楽部」

目　次

P.1…… 巻頭言
P.2…… 福井学習センター在学者状況
P.3～4…… 学習会・ゼミナールのお知らせ
P.5…… 単位認定試験について
P.6…… 次学期の出願・科目登録手続きについて
P.7～8…… 公開講座レポート
P.9…… 2024 年度第１学期面接授業について
P.10…… 事務室からのお知らせ
P.11…… 令和5年度研修旅行
P.12～14…… 編集サークル寄稿
P.15……1～3 月のスケジュール

■ 巻 頭 言

となりにいる誰かの「人権」を考える

石井バークマン 麻子

福井学習センター客員教員

福井大学名誉教授

つい最近、知人に薦められて映画「福田村事件[1]」を観ました。関東大震災で起きた虐殺事件を扱ったこの映画の中で強烈な印象を残した言葉があります。それは、自警団に疑いをかけられた行商人一行（被差別部落出身の日本人）の座長が発した「朝鮮人なら殺してええんか？」という言葉でした。彼はその直後、夫が朝鮮人に殺されたにちがいないと信じる若い女性に、惨殺されます。乳飲み子を抱えた彼女が信じたのは、内務省および報道機関が流した朝鮮人に関するフェイク情報と流言飛語でした。

個人的な話になりますが、経験した2つの場面を思い出します。スウェーデンに移り住んで2年目、私が知的障害等のある成人の日中活動センターの非常勤職員として働き始めた 1986 年でした。日本から見学に訪れた人がいて、昼休みに皆とソファに座っていると、軽度の知的障害のあるHさんが通りがかりにその日本人に向かって「チンション！」（中国人を揶揄する言葉）と言ってからかいました。その場に居合わせた私は、「この人は中国人ではない」とHさんに向かって口に出しそうになって、慌てて飲み込みました。「中国人ならからかわれてもいい」と同じ意味であることに気づいたからです。

また同じ頃、センターに通う重度重複障害のある C さん、パーソナルアシスタントの A さん、私の 3 人で近くのランチレストランに行きました。するとウエイトレスの一人が、あからさまに不快な表情と態度を C さんに向けてきたのです。アシスタントの A さんはすっくと立ち上がり「ここを出ましょう」と言い、車いすの向きを変え、床に唾を吐きました。いつもは穏やかな A さんの、あまりに明確な意思表示に私は圧倒されました。

「人権」について、今年芥川賞を受賞し注目を集めた小説「ハンチバック」の著者である市川沙央さんは、インタビュー[2]に答えて「人権は、思いやりで与えられるものでも義務と引き換えのものでもありません。日本では正確に理解されていない現実がある。」と語っています。障害状況に置かれた当事者でもある人の、ずっしりとした重みが伝わってくる言葉でした。

となりにいる誰かが不快で差別的な言葉を浴びせられたとき、私たちは、どのように対応するでしょうか。忘れたくない宿題の一つだと思います。

出典

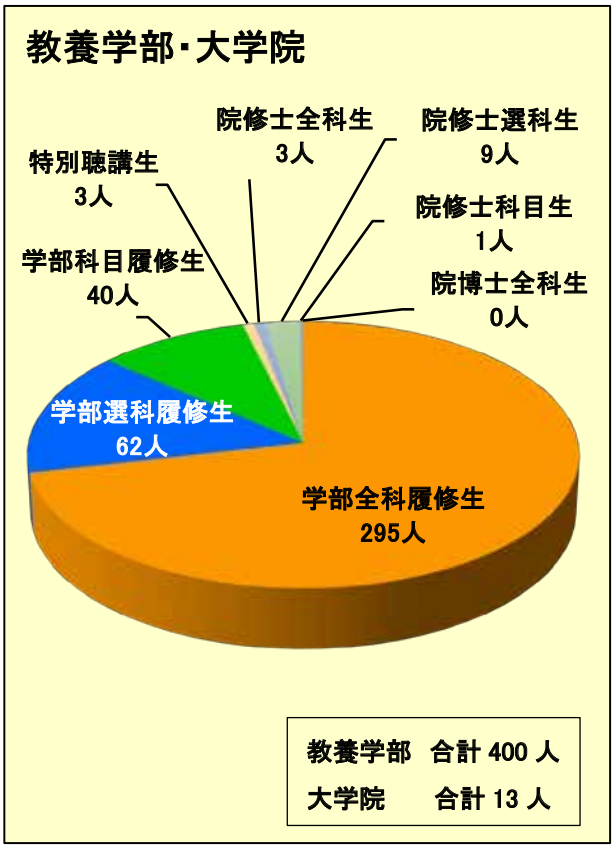
（1） 福田村事件プロジェクト.(2023). *福田村事件*. 森達也監督（配給)太秦.

（2） 市川沙央.(2023). *この社会に障害者はいないことになっている：市川沙央が語った10の言葉*、現代の作家たちが語る「日本」, Business Insider.

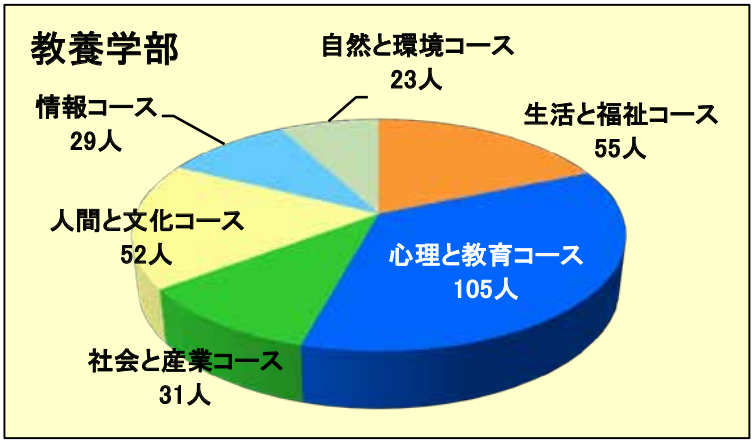
■　2023 年度第２学期　福井学習センター在学者状況

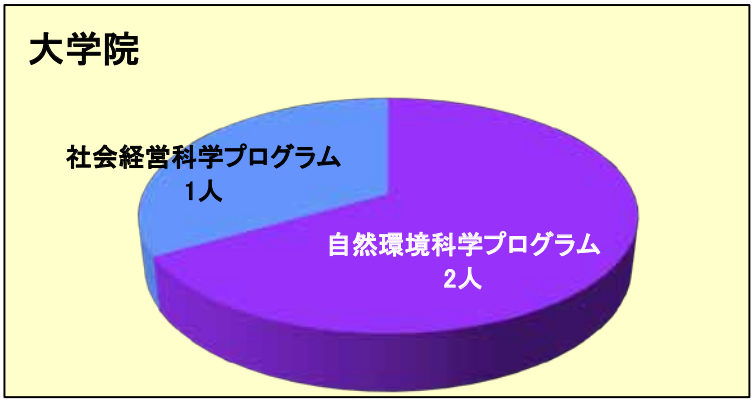
令和５年１１月１日現在

■学生種別人数

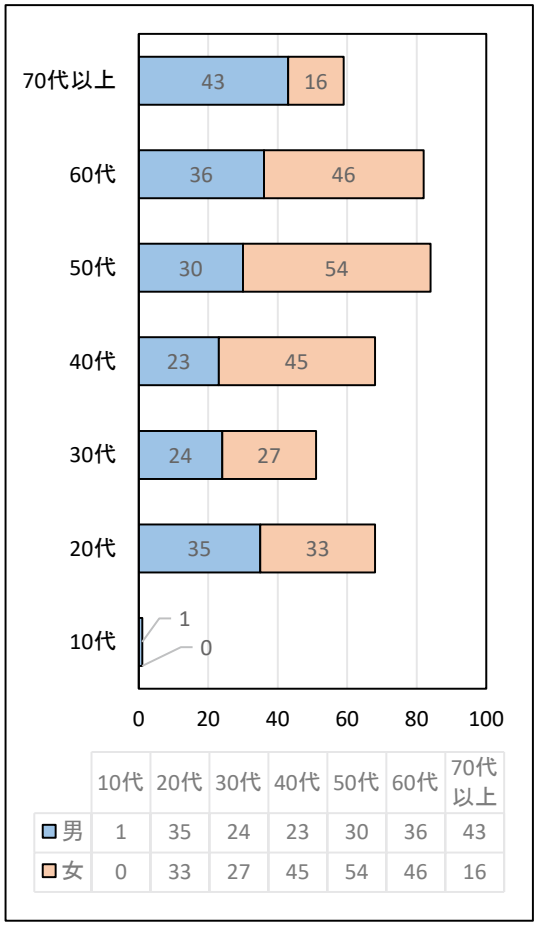


■学部・大学院（全科履修生）所属別人数

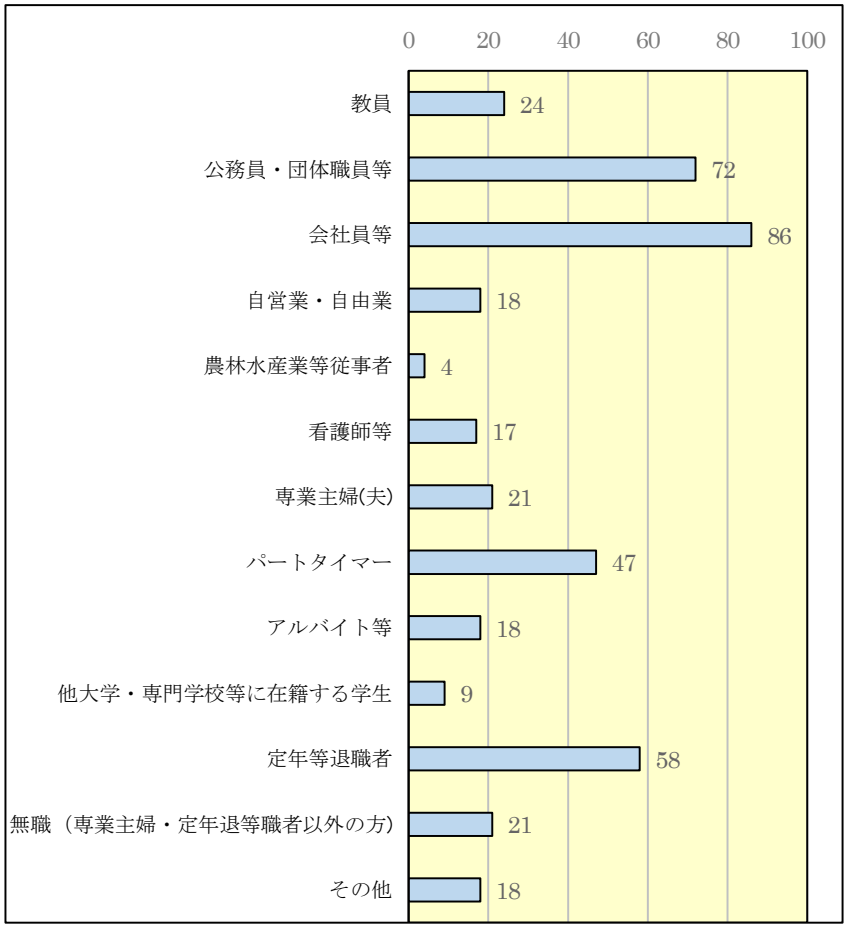




■年齢別・男女別人数



■職業別人数



■　2023 年度第２学期第２期　学習会・ゼミナールのお知らせ

福井学習センターの所長及び客員教員の先生方の専門分野についてテーマを設け、『学習会』『ゼミナール』を開講しています。
【第２学期 第１期（１０月～１２月）に４回】
【第２学期 第２期（　２月～　３月）に３回】
※（実施回数等は都合により変更になることがあります。）
福井学習センターの学生を基本的に対象としますが、他の学習センター学生も可とします。
受講料は無料で、単位は修得できません。皆様のご参加をお待ちしています。
※福井学習センター Web ページからも閲覧いただけます。

学習会	１テーマ全回出席できる方。『学習会』は第２学期の第１期４回、第２期３回の計７回で構成されており（一部例外あり）、内容が連続するため、全て出席できる方が望ましいですが、単発での希望者も受け付けています。
ゼミナール	卒業研究及び大学院進学を考えている学生を対象に、先生方の専門分野の論文等を読み・解説し、更に事例検討会・実技等を通して各自の目的に繋がる『ゼミナール』を行います。１テーマ全回出席できる方。『ゼミナール』は原則として 15 回（1 年）で構成されています。15 回全て出席できる方が望ましいですが、半年または３カ月のみの希望者も受け付けています。
申込方法	電話（0776-22-6361）または当センター事務室で直接お申込みください。事前に申し込みをされていない方、または受講者多数の場合は、受講をお断りすることがありますのでお早めにお申し込みください。
定　員	学習会　➡　各講座 10 名程度　　ゼミナール　➡　各講座７名程度
申込期間	第２期（２月～３月）の申込期間となります。各講座記載の申込締切日までに申込ください。

学習会テーマ

【教育と学習４　学習者との関りから考える教育２】

岸　俊行 先生

専門：教育心理学

2/28(水)、3/6(水)、3/13(水)【14：00～16：00】

日本の子ども達の特徴として、勉強は嫌いだけど成績の良い子は多いという問題点がクローズアップされている。これは、勉強に対して真摯に取り組んではいるけれども、勉強自体を好きになれていない日本の子ども達の姿を現しているともいえる。これらは、教育者側と学習者側の関りの問題でもあります。第２学期では、教育者と学習者の関りについて、動機づけ理論や学習理論を紹介しながら、皆さんとともに考えていけたらと思っております。
（第１期から継続した内容を行います。）

申込締切日 2/25(日)

学習会テーマ

【軍隊と地域社会の関係を考える】

木村　美幸 先生

専門：日本近現代史

2/3(土)【10：00～12：00】【13：00～15：00】　2/10(土)【14：00～16：00】

日本における軍隊と地域社会の関係について、最新の研究成果をもとにお話しします。ロシア・ウクライナ戦争が続くなか、近現代史から軍隊と地域社会の関係について考えていければと思います。意欲のある学生のみなさんの参加をお待ちしています。

申込締切日 1/31(水)

■　2023 年度第２学期第２期　学習会・ゼミナールのお知らせ

学習会テーマ

柴田　正輝　先生

専門：古生物学

申込締切日 2/10(土)

【なんでも恐竜アカデミー】　※本務の都合により２回の開催とします

2/14(水)、2/28(水)【16：00～17：30】

学問において重要なことは「問い」を見つけることです。
皆さんが知っていると思っている恐竜ですが、実は知らないこと・わからないことの方が多く、謎に包まれています。参加者の方々が見つけた恐竜の「問い」を共有し、調べ、発表することで、「問い」への探求を深め、恐竜を科学します。

ゼミナールテーマ

石井バークマン麻子　先生

専門：特別支援教育

申込締切日 1/27(土)

【特別支援教育と共生社会】

2/3 (土)、2/24(土)、3/16(土)【14：30～16：30】

平成 19 年度に始まった日本の特別支援教育は、16 年を経た今も学校現場での課題は少なくありません。障害のみならず「ちょっと変わった人たち」と見られがちな言葉や目の色・皮膚の色が異なる人たちとの相互理解と共存は、共生社会を目指す日本にとって必要不可欠で大きなチャレンジです。
このゼミナールでは、特別支援教育の教師として長年にわたり日本とスウェーデンで仕事をした講師自身の経験と知見も交えながら、「多様性の時代」を生きる日本の子どもたちの教育について多角的な視点から考えを深めるとともに、受講生それぞれが主体的に取り組めるような工夫をしながら、卒業研究や修士論文の構想にもつなげていきたいと考えています。
※適宜テーマ関連の文献紹介や資料配布をします。

ゼミナールテーマ

小野田　信春　先生

専門：可変代数学

申込締切日 2/14(水)

【有限体とその応用２】

2/17(土)、3/2(土)、3/16(土)【14：00～16：00】

体とは、四則演算で閉じた集合のことです。有理数体、実数体、複素数体などがその例ですが、これらはすべて無限集合です。それに対し、有限集合で体であるものを有限体と呼びます。たとえば、0 と 1 だけから成る「2 元体」が具体例です。有限体は、もともとは整数論などで使うために、純粋に数学的な目的で考えられたものですが、現在では、幅広い応用が見出されています。
このゼミナールは、有限体の一般論を学び、次いでその応用として符号理論について学びます。
第 1 学期の続きで、符号理論について学びます。

ゼミナールテーマ

湊　七雄　先生

専門：美術（絵画・版画）

申込締切日 1/31(水)

【西洋絵画作品の画法と技法】　※本務の都合により２回の開催とします

2/3(土)、2/17(土)【10：00～12：00】

西洋美術の歴史に残る巨匠たちはどのような制作環境で、どのような用具や材料を用いて絵画作品を描いたのでしょうか。
このゼミナールでは、講義と実技（作品制作）を交えた実践的学習をとおし、表現者として、また美術のよき理解者としての幅広い視野と豊かな創造力を養うことを目標としています。
主に西洋絵画作品の画法と技法に注目し、講義と簡単な模写を主軸とした画法・技法分析をとおして、西洋絵画作品をより深く理解することを目指します。

【準備物】筆記用具、水彩絵の具一式

■　単位認定試験について

2023 年度第２学期単位認定試験

Web 受験方式（試験期間）

2024 年１月 16 日（火）９：00　～　１月 24 日（水）17：00

※「正多面体と素数（‘21）」、「日本美術史の近代とその外部（‘18）」、「量子化学（‘19）」の３科目については【郵送受験方式】で提出してください。：2024 年１月 16日（火）～１月 24 日（水）必着

◆試験はシステム WAKABA へログインして受験します。

◆1 科目 50 分の制限時間があります。（試験期間中いつでも受験可）

ご自宅等で受験をする場合は、試験期間中であれば都合の良い時間を選んで試験を受けることができます。ご自宅等での受験が難しい場合は、学習センターにて学習センターのパソコンを使用して試験を受けることができます。その場合は原則、『授業科目案内』に記載の試験日・時限での受験、または受験日時の調整をお願いする場合がありますのでご注意ください。★学習センターでの受験には申請が必要です！申請がまだで学習センターでの受験を希望される方は、早急に福井学習センターへご相談ください。

◆一度解答を開始すると、50 分のカウントダウンが進み始めます。受験は 1 回のみ、カウントダウンを止めることはできません。集中できる環境を整えてから受験しましょう。

◆解答の途中で 50 分経過した場合、その途中までの解答が自動的に提出されます。

◆なお、個人の操作ミスや機器トラブル・通信環境の不備により受験に支障が生じた場合について、救済措置はいたしかねます。事前に操作確認・動作確認をした上で、試験に臨みましょう。

新入生の方および初めて Web 受験をされる方へ

◆システム WAKABA にログインがまだの方は、早めにログインし、パスワードの変更をしましょう！

◆Web 単位認定試験システムの体験版の操作をしてみましょう！（下覧参照）

◆しばらくログインされていない方は、ID およびパスワードの再確認をしましょう！

まだの方は、試験前に体験版操作、パスワードの変更･確認を行うなど、事前準備に備えてください。ご不明な点があれば、福井学習センターまでご連絡ください。

しっかり事前準備をして試験に臨みましょう！

★単位認定試験期間前までに、必ず『体験版』を操作しておいてください。

操作する際、試験当日に使用する予定の端末を使いましょう。

★体験版は、システム WAKABA の学内リンクより『Web 単位認定試験』をクリック→科目一覧の『Web 単位認定試験体験版』をクリックして開始

■　次学期の出願、科目登録手続きについて

１月中旬に放送大学本部より科目登録申請要項や継続入学関連書類等、次学期に向けての重要な書類が送付されますので、内容をご確認のうえ、忘れずに手続きを行ってください。

※集団入学又は共済組合を利用して入学された方には継続入学関連書類は送付されません。大学本部又は福井学習センターまでお問い合わせください。）

※出願・手続きの際は、『学生生活の栞』を参考にしてください。

2024年4月以降も学籍が続く学生

- **全科履修生（卒業見込みの方、在学期間満了となる方を除く）**
- **修士全科生**
- **２０２３年１０月入学の選科履修生・修士選科生**

2024年3月で学籍が切れる学生

- **２０２４年３月で卒業見込みまたは在学期間満了となる全科履修生**
- **２０２３年４月入学の選科履修生・修士選科生**
- **科目履修生・修士科目生**

◆科目登録申請◆

郵　送

「科目登録申請票」を郵送

2月 13 日(火)～2月 28 日(水)【本部必着】

システムWAKABA

「教務情報」の「科目登録申請」から手続き

2月 13 日(火)9 時～2月 29 日(木)24 時

- 面接授業の科目登録も併せて行ってください。優先順位を決めて登録してください。定員を上回る申請があった場合は抽選となります。
- 今学期 通信指導未提出・不合格の方、または単位認定試験が不合格の方は科目登録を行わなくても再試験を受験できます。
- 登録申請後、科目登録決定通知と払込取扱票が約２週間～1 か月で届きます。

◆継続入学の出願◆

郵　送

「出願票」を郵送

3月 12 日（火）【本部必着】

システムWAKABA

「教務情報」の「継続入学申請」から手続き

11 月 26 日(日)9 時～3月 12 日(火)17 時

- 次学期に再試験のみ希望される場合も、継続入学の手続きが必要です。
- 面接授業の登録申請を希望する方
  科目登録期間中（2/13～2/29）に募集要項 6～7 頁参照の上、システム WAKABA にて登録を行ってください。
- 選考結果通知と払込取扱票が約２週間～1 か月で届きます。

放送大学福井学習センター　公開講座

日　時　：【第１回】令和５年８月２７日（日）13:30～16:00
　　【第２回】令和５年１０月１日（日）13:30～16:00
場　所　：　放送大学福井学習センター　講義室１
講　師　：　小島　操（こじまみさお）　氏　　主任介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ：　石井バークマン　麻子　氏　　福井学習センター客員教員、福井大学名誉教授

テーマ　支援が必要な人を支える仕事を考える
ー２回連続開催の参加型ワークショップー

目の前にいる支援が必要な人の本当の意思や気持ちを、職業人あるいは家族としてきちんと聴くためには何が必要なのでしょうか。参加者それぞれの経験や場面などを振り返るとともに、出発点にしながら考え合う――第１回の後の１か月間で気づいたことや実践したことなどを第２回に持ち寄り、いつもとは異なる視点から日常の場面を見直し考えを深めていく――２回連続の講座を開催しました。

【第１回】小島先生が、介護支援業務で最も大切な相談援助における言語技術の要点を講義されました。続いて、参加者全員が円形にいすを並べて、共感的な受け答えで相手の気持ちを理解する技術を学びました。さらに２名ずつに分かれ、自由に場面を設定して「面接技術」の演習をしました。

【第２回】各参加者が１か月間の体験事例や考え方の変化などを報告し、演習の成果を確認しました。続いて、介護や不登校などの具体的な相談事例を想定し、２名ずつロールプレイを行いました。どの参加者も、演習で学んだ技術を踏まえつつ、迫真の演技を披露し、会場は感嘆に包まれました。演習中心の２回連続の講座は、参加者全員が支援に役立つ実践的な学びを得られました。

小島　操 先生

介護保険制度施行の2000 年に介護支援専門員資格を取得された、ベテランのケアマネージャー。
研修講師や地域での後輩の育成に努めるなど、東京を拠点に多方面でご活躍中。

石井先生

事例A

これからあなたは、下記のような方を演じきってください。

両親と家族と同居しています。
両親共に要介護の状態で、仕事から帰ってからも介護に時間をとられています。妻も働いており、妻ばかりに負担をかけられません。もう疲れ切ってしまいました。仕事を辞めようかとさえ思っています。

雨の降る日に思い切って相談センターに相談に来ました。

＜参加された方々の感想（抜粋）＞

・ 一度講義を受け、実践や考える時間を持ったうえで２度目の講義という形式は良かった。
・ ２回連続の講座については、演習が多いということもあり、２回目の内容は得るものが多く、今後の支援の中で生かされる部分につながるといいなと思った。
・ 高齢者と話をする機会はあるが、具体的な方法は知らなかった。今回の講座で、自ら実践し、他人の話し方などを聴くことができ、大いに参考になった。
・ 様々な方が参加されていたことが講座をさらに面白くした。たった２回なのにたくさん学んだ気がする。
・ ロールプレイがみなさんとても素晴らしく楽しく参考になった。話を聴くことや面接することは多くの支援になることを意識した。
・ ロールプレイで役割の気持ちになることで、日常でかかわる人の気持ちを想像したり、普段考えていることに影響を受けたりしていることが分かり、とても面白かった。
・ 皆さんのロールプレイを見てみんな仲間だと思った。プロの技を見せていただきありがたかった。実践的な傾聴や共感のトレーニングの場を持てて面白く楽しかった
・ ワークショップを行い、まるで前から知っているような感覚で参加できた。
・ 自分を改めて振り返ることができた。人の話を聴くことの大切さを肝に銘じていきたい。
・ 本来は職場でこうしたロールプレイを通した研修をやるべきところ、時間を取れない。今回演習に参加して職場でもやる大切さを確認した。基礎的な面接技術だが、繰返し続けてトレーニングする大切さも確認した。

継続的に取り組みたい内容　～実践的な臨床技術を学べる場として～

木下　真由美（生活と福祉コース）

今回のロールプレイを定期的に（月１回など）継続すると、とても有意義だと感じました。サークルのように継続的に取り組めるとおもしろいのになあと思いました。

今回限りで終了してしまうのが非常にもったいないと思いました。こういったゼミがあると良いのでは…。「生活と福祉コース」や「心理と教育コース」において、高齢者福祉・障害者福祉の心理職の技を学ぶトレーニングの場になり、非常に実践的で、参加者の満足度も高いのではないだろうか、と感じました。

座学もいいですし、フィールドワークもいいですが、対人援助職の臨床の技術を学べる場は、これまでなかなかなかったです。

とても良い講座でした。先生方ありがとうございました。

TA（ティーチング・アシスタント）の視点

公開講座は思った以上に効果的　～講師の小島操先生はマジシャン！？～

織田　直美（心理と教育コース）

「支援が必要な人」に対し、何ができるのか、何をしたらいいのか、を考える講座なのかな、という思いで受講した。

結果、2回の講義やワークショップでの実践を通して、受講生は、まるで昔からの知り合いのようにお互いを認識することとなり、誰もが支援者となり、みんなを支えることができる、そんな思いでいっぱいになった。これは、きっと講師の小島先生に魅了されてマジックにかけられているのか、そんな気がする素敵な講座だった。

第１回目～小島マジックの始まり～

講座は小島先生の軽快なトークから始まった。地元のこと、仕事のこと、を聞いていくうちに、話にのめりこんでいった。話を聴ける人は話も面白い！

次にワークショップ。受講生みんなが参加する実践の場で「聴く」ことに係る技法を重視した。講義で得たことを実践したいのに、先走ってしまったり、共感できなかったり・・・。自分の聴き方に「気づき」を与えてくれた。

第2回目～みんなで小島マジックの実践～

約1か月後に開催され、その間に実践して良かったこと、反省点、今までの出来事についてどうしたらよかったのか、などについて発表した。こうしたらよかった、こうしようと工夫した、と実践で活かされている話を聞いた。小島マジック浸透中。

2回目のワークショップでは、受講生全員で3つに場面における対応を実践した。受講生は、まるで実際の場面のように対応を考え、話を聴きだし、広げ、寄り添うことができた。

小島マジックの実践はこれからもまだまだ続く。

■　2024 年度 第 1 学期 面接授業について

（日程順）

担当講師	科目名	日時	時限	定員
大西　将史	心理学実験 2	4/13（土）～4/14（日）	1～4 限	15
佐々井　司	ライフコースの人口学	4/13（土）～4/14（日）	1～4 限	16
湊　七雄	ペン画入門	4/20（土）～4/21（日）	1～4 限	20
青山　義弘	新・初歩からのパソコン	4/20（土）～4/21（日）	1～4 限	4
門井　直哉	日本の古代道路 5	5/11（土）～5/12（日）	1～4 限	20
二河　成男	共生の生物学	5/18（土）～5/19（日）	1～4 限	30
小野田　信春	複素数の世界	5/25（土）～5/26（日）	1～4 限	30
小高　知宏	初級 Python プログラミング	6/1（土）～6/2（日）	1～4 限	20
菊地　吉信	住まいとまちづくり	6/8（土）～6/9（日）	1～4 限	20
清水　聡	発達障害児者の理解と支援	6/15（土）～6/16（日）	1～4 限	30
ヘネシー・クリストファー	英語コミュニケーション（基礎）	6/15（土）～6/16（日）	1～4 限	12
佐野　治	福祉問題とソーシャルワーク実践	6/22（土）～6/23（日）	1～4 限	20
安倍　博	心と行動の科学	6/22（土）～6/23（日）	1～4 限	16
岸　俊行	心理学実験 3	6/29（土）～6/30（日）	1～4 限	20
丸山　広人	セラピストとして考えること	7/6（土）～7/7（日）	1～4 限	30

2024 年度第 1 学期以降のパソコンを使う面接授業について重要なお知らせ

◆2024 年度からの【BYOD】導入について◆

2024 年度第 1 学期以降、面接授業のうち受講の際にパソコンを使用する授業に関しては、**ご自身のパソコン等を持参して受講いただく方式**（BYOD：Bring Your Own Device）の面接授業を展開する予定です。

上記、2024 年度第 1 学期開設科目のうち、科目名に マークがついている 3 科目が対象になります。受講をお考えの方は、詳細をシラバスにて確認の上、受講登録をしていただきますようお願いいたします。（パソコン等のスペックなどについても授業概要に記載がありますので必ずご確認ください）

なお、ご自身のパソコン等を持参しインターネットを使用する場合は、福井学習センター内の Wi-Fi を利用することができます。詳しくは、当誌 P.10 の Wi-Fi 申請（無線 LAN 利用申請）についてを参照の上、事前の手続きをお願いいたします。

※「新・初歩からのパソコン」に関しましては、学習センターの Chromebook 端末を使用しますので、ご自身のパソコンをお持ちいただく必要はありません。

■　事務室からのお知らせ

◆Wi- F i 申請（無線 LAN 利用申請）について

2024 年度 1 学期より、学習センターの面接授業で使用している既存の「学生用端末」「プリンター」は廃止され、パソコン等を使用する面接授業においては、原則として「ご自身のパソコン等」を持参して受講していただく方式（BYOD：Bring Your Own Device）に変更となります。このため、持参したパソコンを Wi-Fi に接続する場合は、以下の手続きが必要になります。

①情報セキュリティ研修の受講

システム WAKABA にログインし、【学内リンク】➡【放送大学自己学習サイト】➡【情報セキュリティ研修（学生用）】を受講し、「小テスト」に合格すると発行される「修了証」を取得する。

②「無線 LAN 利用許可申請書」の提出

「無線 LAN 利用申請書」を学習センターに提出するとともに、情報セキュリティ研修の「修了証」を提示する。

③「無線 LAN 利用許可書」の発行

「無線 LAN 利用許可書」（認証用 ID・パスワード記載）を発行。

◆radiko(ラジコ)の 2023 年度末配信終了のお知らせ

放送大学ラジオ（BS531ch）の放送番組は、radiko（ラジコ）で同時配信等を行ってまいりましたが、radiko 導入時と比べて WAKABA の操作性が向上したこと、大学運営経費の効率化が必要であることなどを踏まえ、2024 年 3 月 31 日をもって radiko での配信を終了することとなりました。

現在、radiko をご聴取されている学生及び一般の皆さまは、2024 年 4 月 1 日以降、以下の方法によりご聴取いただけます。

◆2024 年 4 月 1 日以降の聴取方法◆

【学生の方】

BS531ch および学生専用の環境である「システム WAKABA」→学内リンク内「放送授業のインターネット配信」からこれまでどおり全ての科目をご聴取いただけます。

【一般の方】

BS531ch において、これまでどおり全ての科目をご聴取いただけます。また、一部の科目については、「放送大学オープンコースウェア（OCW）」において、これまでどおりご聴取いただけます。

放送大学 Web サイト→「知る・楽しむ」→「放送大学の講義を無料で配信中」（放送大学オープンコースウェア）

◆臨時閉所時の周知方法について

以下に示す状況等の影響で臨時閉所となる場合、福井学習センターウェブサイトに掲載します。来所の際には事前にご確認願います。

①福井市に気象等の特別警報または警報（波浪・高潮を除く）が発表され、公共交通機関に重大な影響がおよぶ場合

②地震及び停電等不測の事態が発生し、当学習センターの業務を正常に行えない場合

令和５年度 学生研修旅行レポート

４年ぶり開催の学生研修旅行に行ってきました！
２０名の学生さんの参加があり、お天気にも恵まれ充実した一日となりました。

10/28
Saterday

あいとう体験・近江八幡の旅

あいとうエコプラザ菜の花館
【体験学習】
２グループに分かれて「エコキャンドル作り・せっけん講座」を体験し、SDGs・地球環境に関する取組についての説明を聞きました。

水茎焼 陶芸の里
【昼食】
地元の名産品が一度に楽しめる近江牛すき焼き鍋を堪能しました。

ラコリーナ近江八幡
【施設見学・買い物】
お菓子や自然を楽しむこだわりと遊び心がちりばめられていました。

近江八幡　【八幡堀周辺散策】
近江商人のふるさとである歴史あふれる風情と情緒ある町並みに触れることができました。

◆参加された方のアンケート結果◆

①研修旅行の参加は、今回で何回目ですか？
　初めて:10 人　２回目: 3 人　３回目:1 人　４回以上:4 人　ほぼ毎回:2 人
②募集の案内は、何で知りましたか？（複数回答可）
　研修旅行のご案内」を見て:19 人　他の学生・関係者に誘われて:4 人
③研修旅行への参加を決められた動機はなんですか？（複数回答可）
　料金が安かったから: 6 人　時間があったから: 4 人　学生同士の交流が深まるから: 9 人
　体験に興味があったから: 7 人　研修旅行先が行きたい場所だったから: 8 人
　その他: 3 人（なかなか集まる機会がない等）
④参加後、事前に期待していたとおりの満足度は得られましたか？
　満足:11 人　やや満足: 7 人　どちらともいえない: 0 人　やや不満: 2 人　不満: 0 人
　不満の理由（各場所での時間が足りない等）
⑤今回旅行代金はいかがでしたか
　もう少し安いほうが良い:0 人　ちょうど良い:15 人　安いと思う:4 人

◆感想・ご意見◆（一部抜粋）

＊体験学習、すばらしい取組で真のSDGsで勉強になりました。
＊時間は短かったが、それぞれの場所で何を楽しむのかを決めてから動けたので満足できました。
＊日程が盛りだくさんで、もう少しゆとりを持って楽しめるといい。
＊近江牛が美味しかった。食後に同じテーブルの人と話ができて交流も深まったと思う。
＊天候も幸いに晴れて八幡堀の美しい景色を楽しめました。
＊体験学習の時間を少し短くすると、自由時間が取れたと思う。

◆今後行ってみたい場所・体験したい事柄等◆

＊奈良県，京都・大阪，滋賀県の寺社，中部循環経路，天の橋立，県外文化施設，恐竜博物館,小浜方面等
＊ガラス工芸，絵付け，九谷焼体験，陶芸，アクセサリー作り，美術館体験，精進料理や講和等

来年度も、ぜひ参加をお待ちしています！

特別寄稿

今回から、全科履修生「心理と教育コース」に在学中の「乾　陽子」さんが、仕事の傍ら現在活動されている「古建築」に関する寄稿をシリーズで紹介しますので、是非ともご一読願い、そして皆さんの中で機会があれば訪れてみるのも如何でしょうか。

それでは、「乾　陽子」さんのプロフィール紹介をさせていただきます。

横浜市出身。高校卒業後、大学・大学院で建築学を学び、専門は「市民まちづくり」。
結婚を機に福井に移住、２５年。現在は地方公務員として建築職の業務に従事。
過去に移住や空き家活用、住教育などに取り組む。
放送大学には、2020 年第２学期全科履修生「心理と教育コース」に入学、2022 年には認定心理士の資格取得。
１級建築士、宅地建物取引士のほかヘリテージマネージャーと言う古い建物の保存活用の専門家の資格を有し、「ふくいヘリテージ協議会」において、空き家活用について積極的に活動中。
趣味は、街歩き、食べ歩き、絵本。９月に基礎絵本セラピストⓇの資格を取得し、古民家を会場とした「大人の絵本の会」を開催中。

「ふくいヘリテージ協議会」、「ヘリテージマネージャー及びふくいヘリテージマネージャー」とは

次ページ下段の QR コードを読み取ってご覧になることができますが、概要を紹介します。

「ふくいヘリテージ協議会」は一般社団法人福井建築士会の社会貢献活動組織として、平成 26 年に設立。令和２年５月現在、「ふくいヘリテージマネージャー」を中心に 62 名の方が入会され活動中。
「ヘリテージマネージャー」とは、公益社団法人日本建築士会連合会の指針によると「地域に眠る歴史的建造物を発見・発掘し、保存し、活用して、まちづくりに活かす能力を持った人材」と定義。
長く続いたスクラップ＆ビルドの時代から、地域に眠る歴文化遺産を発見・発掘し、保存、活用を推進することによりストックを活用する時代となり、このような時代認識のもと、「ふくいヘリテージ協議会」は、次のような活動と交流を通して地域固有の風景を回復しつつ、誇りの持てる地域づくりに貢献していきたいとのことです。

1．古民家所有者や歴史的建造物所有者からの保存・活用に関する相談等に応ずること
2．行政諸団体と連携・協力して具体的な成果物を作成する活動
- 「県・各市町の歴史文化資産台帳作り」への支援・協力
- 「県・各市町の歴史文化資産を文化財として登録する活動」への支援・協力
- 「県・各市町の歴史文化遺産を地域おこし、まちづくり、景観づくり、観光振興等に活用する活動」への支援・協力

3．他団体とのネットワーク
- 本団体の活動に賛同する他団体との交流及び相互の情報の共有を図ること

「ふくいヘリテージマネージャー」は、一般社団法人福井建築士会が、公益社団法人日本建築士会連合会の指針に基づき「ヘリテージマネージャー養成講座　全講義 60 時間」、すべてを受講し所定の成果物を提出し養成講座を修了したと認定された(認定証の交付)者

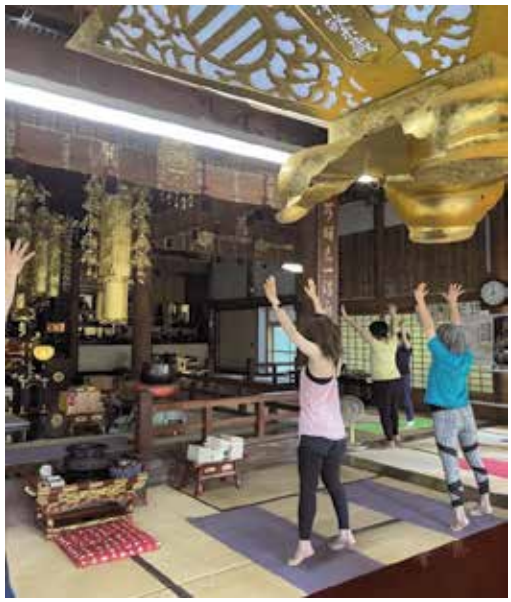
歴史的建造物等活用コンシェルジュサイトより

シリーズ　古建築を楽しむ

心理と教育コース全科生　乾　陽子

はじめまして。今期より古建築を散策する連載を書かせていただくことになりました。

私の所属する「ふくいヘリテージ協議会」では、歴史的建造物の保全活用の専門家であるヘリテージマネージャーを中心に、地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす活動しています。全国の建築士会を端緒に「全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会」も設立されていますが、福井県の「ふくいヘリテージ協議会」はその中でも人知れず積極的に活動しています！



寺ヨガ（粟生寺）→

↑結婚式前撮り（GOSHOEN）

↑子どもとカフェ（ﾗｼｰｸ）

2022 年には、WEB 上に「歴史的建造物等コンシェルジュサイト」を立ち上げました。古建築マニアに限らず、一般の方にも身近に古建築があることを知ってもらい、もっと気軽に活用して、愛着のある施設として将来へ受け継いでいきたいという思いから作った、使える古建築検索サイトです。

（検索：歴建コンシェルジュ）

このサイトに掲載されている古建築を、紙面上で数軒ずつご紹介していきます。みなさまも、散策に、趣味のお教室に、ライブ会場に、撮影に、会食に･･･お使いいただけると幸いです。そのお写真などお見せいただけるとさらに嬉しいです。また、ヘリテージ協議会では古建築となったご実家の活用や空き家の相談にも対応していますので、お気軽にお声掛けください。お問合せは各サイトから受付けています。

ふくいヘリテージ
協議会サイト

歴史的建造物等
コンシェルジュサイト

歴建コンシェルジュ
Facebook（イベント情報）

歴建コンシェルジュ
Instagram（イベント情報）

歴史的建造物等活用コンシェルジュサイトより

シリーズ　古建築を楽しむ
～今庄宿その１～

写真：今庄宿の町並み（福井県 HP より）

初回は 2021 年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された『今庄宿』をご紹介します。

南越前町今庄は、古来より江戸・京都方面から北陸方面への玄関口として発展しました。1602 年に宿場が置かれ、1896 年に官設鉄道北陸線が開通すると今度は鉄道の町として栄えました。現在でも街道沿いには江戸期から昭和初期の建物が点在し、宿場町の風情が随所に残っています。

写真
左上：
若狭屋外観
左下：
六助のそば

ＪＲ北陸本線の今庄駅からすぐに位置するため、電車で行って町並みを散策することができ、車がなくても楽しめます。

この町並みの鍵になるのが、街道中心部に建つ『旧旅籠若狭屋』。江戸時代後期の建物で今庄宿の代表的な歴史的建造物ですが、解体の危機がありました。この時地元の方々が中心となりＮＰＯ法人今庄旅籠塾が発足、改修し、事務局を設置、地域住民や観光客の集う場所として休憩やイベントにも活用されています。「十割そば六助」がここで営業しています。

その近くでひときわ目を引く洋風建築は『昭和会館』です。旧加賀藩の本陣跡地に昭和５年郷土の偉人「田中和吉」氏が私財を投じて建設しました。当時珍しい鉄筋コンクリート造り３階建て。併設された迎賓施設の『静心閣』と合わせて、社会教育の中核となりました。その後今庄町役場や公民館として地域住民に利用されています。３階ホールの天井の漆喰模様や舞台上部のアーチやレリーフの漆喰は建築当時の意匠を保存しており、クラシックコンサートも度々開催されています。

今庄から敦賀・長浜そしてロシアをつなぐ鉄道の歴史にまつわるストーリーは日本遺産に認定され、近くには土木遺産の北陸トンネルなどもあります。鉄道の歴史を想像する旅にいかがですか？

写真
右上：
昭和会館
右下：
昭和会館
3 階ﾎｰﾙでの
ｸﾗｼｯｸｺﾝｻｰﾄ

歴建ｺﾝｼｪﾙｼﾞｭｻｲﾄ
若狭屋→　　昭和会館→

■　令和６年　１月～３月のスケジュール

１　月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

～4 日・・・・・・・　年末年始閉所【12/28～】
16 日～・・・・・・　第 2 学期単位認定試験【～24 日】
※WEB 受験方式提出期限 17 時まで
※郵送受験方式提出期限　本部必着
13日～14日・・　パネル展（アオッサ 1F）・オープンキャンパス

【面接授業】
1/6～1/7「ホームページ作成入門」
1/6～1/7「新説　恐竜学」

２　月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

13 日～・・・・・・　2024 年度第 1 学期科目登録申請
※郵送申請【～28 日　本部必着】
※Web 申請【～29 日　24:00 まで】

図書室より お知らせ

雑誌バックナンバー等無料配布のお知らせ
期間：２月３日(土)～２月９日(金)
場所：福井学習センター　図書･視聴学習室内

３　月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12 日・・・・・・・・・　2024 年度 4 月入学出願締切【必着】
17 日・・・・・・・・・　公開講座「地域から戦争を伝える可能性と課題」
23 日・・・・・・・・・　本部主催　学位記授与式(会場：ベルサール高田馬場)
31 日・・・・・・・・・　2023 年度第 2 学期学位記授与式･2024 年度第 1 学期入学者の集い（会場：福井学習センター）

19･21･31 日・・　図書･視聴学習室は新学期準備の為閉室します（福井学習センターは開所）

閉所日　面接授業　単位認定試験期間

ご友人･お知り合いをご紹介ください！

福井学習センターでは、学生さんを通して、ご友人･お知り合いの方に放送大学を知っていただき、自分なりの学びと向き合っていただきたいと願っております。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひともご紹介ください。
ご紹介いただきました方が 1 年以内に福井学習センター所属学生として新規入学された場合には、紹介者様（原則、福井学習センター所属学生）へ図書カード（1,000 円分）を贈呈させていただく予定です。詳しくは当センターまでご連絡ください。
★学部科目履修生、大学院修士科目生は対象外とします。
★過去に在籍期間がある方については対象外となります。

2024 年度第 1 学期 入学生を募集しています！

第１回出願期間
2023 年１１月26日（日）～
2024年2月29日（木）
第2回出願期間
2024 年 3 月 1 日（金）～
2024年3月12日（火）

★学生募集要項は、ご希望の方には郵送もいたします。
★個別相談も随時行っていますので、お気軽にお電話ください。

◆資料請求･お問合せ先◆
放送大学福井学習センター
〒910-0858　福井市手寄１丁目４－１　AOSSA7F
TEL：0776-22-6361　FAX：0776-22-6431
https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukui

放送大学 福井学習センター